

ながさき

令和元年12月
第74号

農委だより



《掲載記事》

- * ながさき伝統野菜
- * 新年のあいさつ
- * 委員募集
- * 人・農地プランについて
- * がんばる農家
- * 農地賃借料情報
- * 農業者年金
- * 地域の活動・イベント

【ながさき伝統野菜の栽培】

令和元年9月から令和2年1月にかけて、長崎市農業センターで、ながさき伝統野菜の栽培についての研修が行われています。栽培されているのは「長崎赤かぶ」「長崎白菜（唐人菜）」「辻田白菜」「長崎たかな」「紅大根」の5種類。

9月の葉ものの種まき・育苗に始まり、畑への植付け、根ものの種まきから収穫までを応募された14名の市民の方が学びます。

11月17日に9月に植えた作物の収穫を行いました。畑に青々とした葉が茂り、豊かな実りとなりました。

編集・発行 長崎市農業委員会

〒850-0037 長崎市金屋町9-3（金屋町別館2階） Tel.095-820-6561 Fax.095-823-3452
ホームページアドレス <http://www.city.nagasaki.lg.jp/soshiki/259/260/index.html>

新年のごあいさつ

長崎市農業委員会 会長 平尾 政博



新年、あけましておめでとうございます。皆様方には、令和となって初めての新年を、希望に満ちたお気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より、農業委員会活動につきまして、ご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、私も長崎市農業委員及び農地利用最適化推進委員は、平成二十九年七月から新しい体制となって早くも任期最終年の三年目を迎えております。その間、農地法に基づく許可事務、農地利用状況調査や農地利用意向調査のほか、農地等の利用の最適化の推進に向けて、担い手への農地の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進に努めてきたところでございます。

昨今、全国各地では、台風や大雨の被害により、農業分野においても、甚大な被害が発生しており、天候に直接左右される農業者は、今後とも創意工夫を重ねながら立ち向かっていかなければならない状況にあります。また、農業者の高齢化や担い手不足、荒廃農地の増加等、問題は山積しております。

私たち農業委員会は、守るべき農地を確実に次世代の担い手へ引き継ぎ、地域農業の振興を図っていくために、引き続き積極的に委員会活動に取り組む所存です。農業委員会が、農業者の皆様を代表する機関としての役割を果たしていくために、今後とも引き続き皆様方のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

最後になりましたが、新しい年が皆様方にとりまして実り多き年となりますよう、心よりお祈り申し上げます、新年のあいさつといたします。

新年を迎えて

長崎市長 田上 富久



新年、おめでとうございます。皆様方におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

農業委員会の皆様をはじめ、農業者の方々、関係機関の皆様方におかれましては、平素より、長崎市の農業行政全般にわたり、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、農業を取り巻く状況は、皆様のご承知のとおり、農業従事者の高齢化、後継者不足、農地の荒廃化及び生産コストの増大といった課題や人口減少・超高齢化社会の進展など、社会的要因も大きく変化しており、大変厳しい状況となっております。

このような中、農業委員会の皆様におかれましては、「担い手への農地利用の集積・集約化」、「遊休農地の発生防止・解消」、「新規参入の促進」に向けた農地利用の最適化の取り組みを力強く取り組まれており、大変心強く思っております。長崎市としまして、皆様方をはじめとする関係者のご協力を賜りながら、長崎市農業振興計画による様々な施策の展開や農業集落・地域の継続と産地の維持に資するため、「人・農地プランの実質化」を地域の皆様との話し合いの中で進めていき、長崎市の農業に新しい活力を生み出してまいりたいと考えておりますので、皆様方のさらなるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後に、本年は、新しい元号「令和」となっており、初めて新年を迎える年となります。「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味が込められた「令和」。この1年が皆様方にとりまして、輝かしい年となりますよう祈念いたしまして、私の新年の挨拶といたします。

農地等利用最適化推進施策に関する意見書を提出しました

令和元年 11月 21 日に農業委員会等に関する法律第 38 条第 1 項の規定に基づき、農地等利用最適化推進施策の更なる効果的な実施のため意見書を長崎市へ提出いたしました。



【意見書項目】

1 担い手への農地利用の集積・集約化

- (1) 人・農地プランの実質化に向けた積極的な推進について
- (2) 中山間地における農地中間管理機構による農地貸借について

2 遊休農地の発生防止・解消

- (1) 景観形成作物の作付けに対する支援制度の創設について
- (2) 長崎ならではの品目の作付けに対する支援制度の創設について

3 新規参入の促進

- (1) 定年帰農者向けの支援策の充実について
- (2) 市内外からの新規就農者を増加させる方策の検討について
- (3) 若手農業者が将来の農業経営に夢が持てるような農業所得の向上につながる施策の展開について

4 有害鳥獣対策

- (1) 抜本的な有害鳥獣対策について
- (2) 鳥類被害に対する対策の強化について

5 基盤整備

- (1) 基盤整備の積極的な推進について
- (2) 長崎市の実情に応じた市独自の基盤整備施策の実施と国・県への働きかけについて

6 農道・里道・水路の維持管理

- (1) 農道の適切な管理について
- (2) 里道・水路の維持管理について

農業委員と農地利用最適化推進委員を募集します

農業委員

募集人員	・19名 ※うち、1名については、農業委員会の所掌に属する事項に関し利害関係を有しない方
応募資格	・農業に関する識見を有し、農地等の利用の最適化の推進に関する事項その他の農業委員会の所掌に属する事項に関し、その職務を適切に行うことができる方
主な業務内容	・総会での農地の権利移動・転用等の審議・決定 ・農地利用最適化のための現場活動（担い手への農地集積、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進 等）
任期	令和2年7月20日～令和5年7月19日

農地利用最適化推進委員

募集人員	・24名 ※地区割りについては、募集要項でお知らせします。
応募資格	・農地等の利用の最適化の推進に熱意と識見を有する方
主な業務内容	・担当地区における農地利用最適化のための現場活動
任期	令和2年7月下旬～令和5年7月19日



応募方法 個人や団体からの推薦、自らの応募 ※所定の様式があります

募集期間 令和2年2月（予定）

その他 **募集要項や応募期間の詳細については、決定次第、「広報ながさき」や長崎市ホームページでお知らせします。** お問い合わせは… 長崎市農業委員会事務局 農政管理係 Tel.095-820-6561

人・農地プランの実質化について

～地域の農業と農地の将来を真剣に考えてみませんか？～

地域での話し合い活動等にご協力ください！

地域農業の現状は、高齢化や後継者不足、有害鳥獣被害などにより、耕作放棄地や遊休農地が増えていく一方で、農地の山林化も進んでいます。

他方では、「もっと経営を拡大したい」と頑張っておられる方や、「新しく農業を始めたい」という新規就農者の方など、農業の『担い手』となられる方も少なからずおられます。

地域の農業をより良くするために、その地に暮らし、その地に関わる皆さんが、地域の現状を把握し、未来へ向けてその地に残すべき農地を明確にし、その農地をどの『担い手』に託すのか、地域の農業をどのようにしていきたいのか、などを話し合っ地域農業の将来の方向性を定めたものが「人・農地プラン」です。



人・農地プランの実質化とは？

「人・農地プラン」においては、次のような手順で地域での話を進め、計画（プラン）を実行（実質化）していきます。

- ① 地域の人・農地の現況・将来についての聞き取り
【アンケートや戸別訪問による意向把握】
- ② 把握した意向の集約 【地図化による現況把握】
- ③ 話し合い活動の実施 【課題の共有】
- ④ 地域農業のこれからのための将来方針を決定
【「人・農地プラン」の決定・実質化】
- ⑤ 「人・農地プランの実行」 【農地のマッチング、など】



人・農地プランへの支援措置について

人・農地プランに活発に取り組んでいる場合、以下のような支援制度があります。

【「地区」を対象とする支援措置】

- 強い農業・担い手づくり総合支援交付金のうち産地基幹施設等支援タイプ
→地域の中心な農業法人や農業者団体等による集出荷貯蔵施設等の産地の基幹施設の導入を支援
- 機構集積協力金のうち地域集積協力金
→人・農地プランにより、まとまった農地を農地中間管理機構に貸し付けた地域に協力金を交付
- 機構集積協力金のうち農地整備・集約協力金（農地耕作条件改善事業の実施地区）
→基盤整備事業の農業者負担を軽くするため、協力金を交付

【「人（地域の中心となる経営体）」を対象とする支援措置】

- 強い農業・担い手づくり総合支援交付金のうち先進的農業経営確立タイプ
→広域に展開する農業法人等が、経営の高度化に取り組むために必要な農業用機械・施設の導入を支援
- 強い農業・担い手づくり総合支援交付金のうち地域担い手育成支援タイプ
→農業者が経営基盤を確立し、更に発展するために必要な農業用機械・施設の導入を支援
- 農業次世代人材投資事業（経営開始型）
→次世代を担う農業者となることを志向する50歳未満の者に対し、経営開始時を支援する資金を交付
- 農業経営基盤強化資金利子助成金等交付事業、担い手経営発展支援金融対策事業（スーパーL資金金利負担軽減措置）
→経営改善に意欲的に取り組む農業者を金融面から強力に支援

今後、各地区においては、実質化に向けた話し合い活動が進められていきます。ぜひ話し合いに参加していただき、地域農業の未来を一緒に考えていきましょう。

がんばる農家 愉快的仲間たち Vol.20

このコーナーでは、頑張っている農家の皆さまをご紹介します。
今回は、琴海 西海町の浦江頭一さんです。



↑ JAのハウスリース事業で建てたばかりの真新しいハウスです。設置は全てJAが行い、風速35メートルの風にも耐えられる頑丈なものだそうです。

↑ 新しいハウスに定植したイチゴの苗の前で～
イチゴ農家の浦江さん(中)と研修生の井添さん(左)・高橋さん(右)

西海町の浦江頭一さんは、認定農業者で、19年前に脱サラし、農業を始められたそうです。現在、パートの方々を中心に3～4名と、繁忙期には他に1～2名で、主にイチゴ(32a)と水稻(87a)を栽培されています。JAことのみみのイチゴ部会長やJA長崎せいひイチゴ部会副会長などの要職にもつかれており、忙しい毎日を送られています。

この度、JA長崎せいひのハウスリース事業のモデル事業として、イチゴのハウスを拡張されました。今後も規模拡大し、単収のアップを図りたいとのことで、今年の収穫量の目標は10aあたり6.5トンだそうです。また、農地については、農地中間管理事業を利用して借りているとのことです。

農業を行う上で必要な事を伺うと、「まず、やる気！次に元気(健康)！そして、本気！」とのこと。今後の益々のご活躍を期待いたします。お忙しい中ありがとうございました。

(取材：森山農業委員)

■JA長崎せいひのハウスリース事業について

人・農地プランにおいて、担い手の経営面積の拡大を図るにはどうすればよいかを協議する中で話が上がり、2～3年ほど視察や議論を重ね、令和元年度からようやくモデル事業がスタートしたとのことです。

取材時点では、貸出年数や賃料などはまだ未定とのことでした。

新しくハウスを建設するのに、行政からの補助が一部ありますが、残りは経営主負担となり、そのための資金の借入れなどが経営上の大きなリスクとなっており、それが軽減されることなどのメリットが期待されます。しかしながら、従来からの国や県からの補助もやはり必要であるとのこと。

長浦小学校 稲刈り ～ 琴海長浦地区 ～

10月4日に琴海の長浦小学校で、稲刈りがありました。長浦小学校では、毎年総合的な学習の一環として米作りに取り組んでいるとのことです。

この日は、5年生の児童が、学校の「ふるさとティーチャー」として平成26年から、米づくりの授業を行っている田中農地利用最適化推進委員と一緒に、大切に育て、豊かに実った稲穂の刈取りを行いました。

田中推進委員は、「お米の話」から「脱穀」まで、年6回の授業を行うそうです。

収穫したのはもち米で、学校の秋祭りでもちつきをしてみんなで味わうとのことです。精魂込めて育てたおもちの味はきっと格別なことでしょう。



← 鎌の使い方を教
えていきます。
(中央が田中委員)



← 束ねた稲を干し

長崎市における農地の賃借料情報

平成30年4月から平成31年3月までに締結（公告）・継続された賃貸借における賃借料水準（10aあたり）は、以下のとおりとなっています。
農地の貸し借りをしようとする人は目安としてください。

1 田（水稲）

〔金額の単位：円〕

締結（公告）された地区	平均額	最高額	最低額	データ数	備考
琴海地区（基盤整備地区）	16,600	27,000	5,000	62	
琴海地区	15,100	21,300	5,600	22	
外海地区（基盤整備地区）	16,600	18,874	13,861		参考（平成28年度実績）
外海地区	16,000	18,874	13,500		参考（平成26年度実績）
東長崎地区	12,400	18,000	9,000	5	
野母崎地区	10,000	12,000	6,000	9	
茂木地区	10,000	10,000	10,000		参考（平成28年度実績）
旧長崎地区	6,700	18,700	4,700	7	

* この賃借料の情報は、あくまでも目安額（年額）であり、実際契約するときは、貸し手、借り手の両方で協議してください。

2 畑

〔金額の単位：円〕

締結（公告）された地区	平均額	最高額	最低額	データ数	備考
琴海地区（基盤整備地区）	18,400	29,300	10,000	28	
琴海地区	14,800	26,830	5,000	44	
三和地区（基盤整備地区）	9,100	15,000	5,000	105	
三和地区	6,600	13,000	5,000	61	
外海地区	6,000	6,000	6,000		参考（平成23年度実績）
高島地区	9,700	10,400	9,600	6	
東長崎地区	9,100	19,700	4,300	43	
茂木地区	9,700	18,000	4,400	27	
旧長崎地区	18,700	30,300	6,600	20	

* 各地域の平均価格は、毎年1回更新します。

3 樹園地

〔金額の単位：円〕

締結（公告）された地区	平均額	最高額	最低額	データ数	備考
長崎市全域	6,900	18,400	4,400	84	

※ データ数は、集計に用いた筆数です。（地区ごとに5件に満たない場合は、参考値を掲載しています。）

※ 賃借料を物納支給（水稲）としている場合は、30kg当たり9,000円に換算しています。

※ 金額は年額であり、算出結果を四捨五入し100円単位としています。

大中尾棚田火祭り ～ 外海地区 ～



11月2日に外海の大中尾地区で恒例の大中尾棚田火祭りが行われました。当日は天候に恵まれ、海に沈む夕日を背景に棚田が徐々に暗くなっていく様子が、とても幻想的でした。

農業者年金に加入しましょう！

老後の備えとして、家族一人ひとりが準備することが大切です。

経営者だけではなく夫婦や親子で加入することをおすすめします

● 次の3つの要件を全てクリアしていれば、加入する資格があります。

- 年間60日以上農業に従事している。
- 国民年金の第1号被保険者（保険料納付免除者は除きます。）である。
- 年齢20歳以上60歳未満である。

● 農業者年金のメリットは

- 少子高齢化に強い年金です。（積み立て方式）
- 終身年金です。（80歳前に亡くなられた場合は死亡一時金）
- 税制上の優遇措置があります。
- 保険料の額は自由に決められます。（月額2万円から6万7千円の間で千円単位）
- 保険料の国庫補助があります。



農業者年金のお問い合わせは、農業委員会または最寄りの農協まで。

※農業者年金のことをもっと知りたいかたは、農業者年金基金のホームページをご覧ください。

《農業者年金基金ホームページ：<http://www.nounen.go.jp>》

《 農業者年金受給者協議会視察研修 》

令和元年11月19日、20日 長崎市農業者年金受給者協議会では、視察研修を行いました。この視察研修は、農業活動において後継者に指導的役割を果たせるよう、毎年実施しているもので、本年は23名が参加されました。

今年は諫早市の「ファーマーズマーケット きん彩」、「諫早湾干拓農地」などを視察し、諫早湾干拓農地ではブロッコリーなどの収穫作業や、何十棟も連なるハウスなどの見学を行い、大規模農業についての見識を深めました。



※ 長崎市農業者年金受給者協議会の会員は随時募集中です。

お気軽に農業委員会事務局までお尋ねください。（電話：095-820-6561）

地域の活動・イベント

晩夏～秋に行われた行事をご紹介します

道の駅「夕陽が丘そとめ」ぶどう祭り(8/25)



▲ JA長崎せいひ滑石支店ぶどう部会が中心となって、販売を行いました。
当日はあいにくの天候でしたが、朝早くから多くの方が訪れていました。高級ぶどうの「ピオーネ」目当ての方も多く、すぐに売り切れていました。



▲市価よりも安く、とても甘くておいしかったです。



▲道の駅店内も多くの人で賑わっていました。

JA長崎せいひふれあい市新大工店イベント(11/2)



▲ JA長崎せいひふれあい市新大工店では、収穫祭が行われ、多くの買い物客で賑わいました。
消費税増税への対応など、大変なこともありましたが、部会の皆さんが一丸となって頑張っておられました。



←新鮮な野菜や果物、花などがあり、特に魚は人気とのことでした。



←人気のあん餅は、毎回行列ができるほどで、230キロのもち米をつくそうです。

【表紙の写真】

ながさき伝統野菜は、西山木場・東長崎地区で今も大切に伝統を守り栽培されています。
今年は大きな台風などもありましたが、その後は天候に恵まれ、無事に大きく育ちました。また、一般市民の研修のほか、センター近隣の東長崎地区の小学生も賑やかに収穫体験を行いました。
お正月のお雑煮や節分料理などでも使われるふるさとの味です。

編集委員

全国農業新聞を購読しましょう！

◇農業・農政の動きを分かりやすく解説！
◇先進技術・新製品・新品種をいち早く紹介！
◇暮らしと経営に役立つ情報がいっぱい！
毎週金曜日発行 月額七百元
※お申込みは、地域の農業委員・農地利用最適化推進委員が農業委員会事務局へ

【編集後記】

明けましておめでとうございます。

新しい年が皆様方にとって素晴らしい年になりますよう、農業委員会から祈り申し上げます。委員一同



編集委員